

I 公民館の充実発展に関する事業

【公民館研究集会・大会等の開催】

「全国公民館研究集会」及び「ブロック公民館大会」を7地域区分（北海道、東北、関東・甲信越・静、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州）で下記のとおり開催した。公民館に勤務する全国の職員等を中心に、多数が参加し、地域社会の現代的課題への対応などのテーマで事例発表や討議及び大学教授等の研究者の講演等を行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

《開催実績／全国公民館研究集会及びブロック公民館大会》

地区	会期等	主会場	参加者数
北海道	10/5-6	北海道釧路市	216 名
東北	10/13	宮城県仙台市	403 名
関東甲信越静	9/28-29	長野県長野市	720 名
東海北陸	10/20	岐阜県大垣市	710 名
近畿	11/24	兵庫県加古川市	571 名
中国四国	10/12-13	広島県広島市	973 名
九州	8/24-25	長崎県長崎市	1,324 名
合計			4,917 名

【全国公民館セミナーの開催】

各都道府県を代表する公民館長を中心に77名の参加により対面で実施した。後日、講義等の一部を YouTube を活用したオンデマンドで配信した。今年度は以下に記載したプログラムで実施。各地域の公民館の活動にフィードバックすることで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

テ ー マ／シン・公民館－公民館のミライ図－

開催期日／令和6年1月31日（水）～2月2日（金）

開催場所／丸の内MYプラザホール

参加者数／77名

《プログラム内容》

施策説明

「文部科学省の公民館をめぐる動き」

《講師》高木秀人（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課長）

シンポジウム

「公民館のミライ図を描こう！」

《パネリスト》

田中元子（株式会社グラントレベル代表取締役社長）

梅山晃佑（2 豊大学学長）

《コーディネーター》

牧野篤（東京大学大学院教育学研究科教授）

講義

「地域豊饒化と『風』、『水』、『土』、そして、『種』の話」

《講師》

永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長）

ワークショップ

「公民館のミライをデザインする！」

《ファシリテーター》

永田宏和（デザイン・クリエイティブセンター神戸センター長）

情報提供とワークショップ

《コーディネーター》

長澤成次（千葉大学特任教授、同名誉教授）

《情報提供者》

わさびちゃん（YouTuber、お笑い芸人）

角野仁美（NPO法人みらいず works 理事）

新田直子（新潟市東地区公民館）

【相談助言・情報発信・連携協力事業の実施】

① 相談助言・情報発信

日々の公民館活動のなかで「社会教育法上の適否」や「トラブル回避の方法」「活動事例」「公民館の評価」などを情報発信するとともに個別の照会に対し、電話やインターネットを活用した助言を行った。また、各地の公民館で実施する研修会の開催にあたって、講師派遣の相談対応、運営に役立つ情報提供などを適宜行い、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。また、相談助言の裏付けとなる全国公民館実態調査を実施した。

② 国・地方公共団体・社会教育団体・機関等との連携協力

社会教育団体振興協議会の運営を通じて実施される情報交換及び情報発信、より多くの協力者を求めて、国内における社会教育に関する理解を深めるための新規の加入促進を行うとともに、全国の公民館の活動推進に資するために、公民館施設活用の促進について、積極的な働きかけを行った。

【地域活動支援事業の実施】

都道府県公連で実施している公民館職員の資質向上や公民館活動の理解促進等を主たる目的とした研修や公民館の活性化につながる事業などに対して支援及び活動の共有を図った。また、公民館の「地域コミュニティの持続的な発展を推進する役割」をより充実するために明治安田生命保険相互会社との連携で行う『公民館のさらなる発展に向けた官民連携コンソーシアムの構築』を推進して、『MY定期講座』を全国の公民館に提供して公民館活動を通じて地域住民に有益な活動を提供した。

・都道府県公連 114 事業に対して 11,183,722 円を支援した。

【公民館広報推進事業の実施】

公民館の広報活動の事例を収集・評価を行い、優良なコンテンツを表彰することによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図る事業として、今年度はインターネットの活用した広報活動を対象にした「全国公民館インターネット活用コンクール」を行った。今年度を実施したコンクールの結果は以下のとおり。

（「第5回全国公民館インターネット活用コンクール」の結果一覧）

種類	受賞館
金賞（3館）	・ インスタでつながる公民館／高岡市立福岡公民館（富山県） ・ 福井市和田公民館（福井県） ・ 那覇市若狭公民館（沖縄県）
銀賞（4館）	・ 富山市立神保公民館（富山県） ・ 白山市立加賀野公民館（石川県） ・ 天理市立福住公民館（奈良県） ・ リモート公民館ひろしま（広島県）
明治安田生命 特別賞（1館）	・ 所沢市松井まちづくりセンター（埼玉県）
特別賞（3館）	・ 相模原市立麻溝公民館（神奈川県） ・ 越前市花筐公民館（福井県） ・ 太田南地区コミュニティ協議会（香川県高松市）
奨励賞（6館）	・ 狭山市立水富公民館（埼玉県） ・ 相模原市立新磯公民館（神奈川県） ・ 大野市大野公民館（福井県） ・ 綾部市東八田公民館（京都府） ・ 岡山市立御津公民館（岡山県） ・ 矢掛町小田公民館（岡山県）

【「月刊公民館」の発行】

公民館の運営に参考になる特集テーマで、地域社会の取組や専門家の論考などを紹介した「月刊公民館」を発行し、これを広く供することで公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図ってきた。今年度は以下の特集を組み発行した。また、誌面と連動した動画配信「月刊公民館ちゃんねる」は、公民館を訪問した取材動画、講義及び座談会などの動画を配信した。

（月刊公民館特集テーマ一覧／通巻 791～802 号）

4月号	公民館の手引き（上）
5月号	公民館の手引き（中）
6月号	公民館の手引き（下）
7月号	講座づくりの秘訣
8月号	若者と公民館をつなぐ（上）
9月号	若者と公民館をつなぐ（下）
10月号	公民館が支援！高齢者の生きがいと健康づくり
11月号	公民館におけるSDGs実践のヒント
12月号	地域を元気にする公民館（上）
1月号	地域を元気にする公民館（下）
2月号	指定管理者から学ぶ 公民館のミライ
3月号	第5回インターネット活用コンクール結果報告

【専門資料の発行】

新任职員や地域の人などをはじめとした公民館に携わる人向けに公民館を紹介した「よくわかる公民館のしごと」、災害時に公民館が避難所となり、地域の人たちと避難所を円滑に運営するために日頃から準備しておくことや被災したときの具体的な運営方法等を紹介した「公民館における災害対策ハンドブック」、公民館を運営するときに必要な関係法令や通知通達、中央教育審議会の諮問及び答申などを紹介した「公民館必携」等の専門資料を出版社を通じて継続発行することで、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

【優良公民館等表彰事業】

他の模範となるような優良な実績を有する公民館職員を表彰すること及び「優良公民館表彰」で文部科学大臣表彰を受賞した公民館に、記念の楯を贈呈することと、『月刊公民館』でその活動を紹介することで公民館関係者の意欲を触発し、力量の向上を促すことによって、公民館機能を向上させることをもって地域社会の健全な発展を図った。

今年度は以下のとおりの表彰を実施した。

《優良公民館表彰及び優良職員表彰実績》

優良職員表彰	１７名を表彰した。
優良公民館表彰	<p>６９館（うち７館が特別賞）の受賞館に記念の楯を贈呈し、『月刊公民館』で活動を紹介した。</p> <p>【最優秀館】 網走市オホーツク・文化交流センター（北海道網走市）</p> <p>【優秀館】 綾瀬市立中央公民館（神奈川県）</p> <p>平塚市立なでしこ公民館（神奈川県）</p> <p>永平寺町上志比公民館（福井県）</p> <p>浜松市富塚協働センター（静岡県）</p> <p>廿日市市浅原市民センター（広島県）</p> <p>菊池市中央公民館（熊本県）</p>

Ⅱ 公民館総合補償制度に関する事業

【見舞金制度事業の運営】

見舞金制度の中で公民館総合補償制度を運営し、健全な制度運営と適切な支払いに努め、以下の弔慰金及び見舞金の支払いを行うとともに、加入公民館に有益な情報及び資料提供を実施した。また、剰余金の一部を公益目的事業等の財源に充てた。

《見舞金制度支払実績一覧》

種類		件数	支払金額	
行事 傷害	疾病死亡弔慰金	13 件	1,300,000 円	(79 件) 6,031,000 円
	疾病入院見舞金	31 件	2,321,000 円	
	特定災害見舞金	35 件	2,410,000 円	
職員 災害	職員死亡弔慰金	13 件	1,300,000 円	(225 件) 9,172,000 円
	職員入院見舞金	212 件	7,872,000 円	
合計		304 件	15,203,000 円	15,203,000 円

【災害補償保険等に係る集金事務に関する事業】

公民館総合補償制度の運営にあたり、保険会社との間で集金事務委託契約を締結し、制度掛金のうち保険料（団体災害補償保険等の保険料）相当部分の集金業務を、請負事業として実施した。当該事業で得られた利益は、公益目的事業の財源に充てた。

Ⅲ その他の事業

【永年勤続職員表彰、功労者表彰及び公連勤続職員表彰の実施】

公民館において長年勤務し、一定の成果をあげた職員を表彰し、立場を同じくする公民館職員への励みとし、同時によき模範となることにより、公民館職員の意欲を触発し、力量の向上を促すことで、公民館機能が向上することをねらって永年勤続職員表彰を行った。

また、都道府県公連における活動の活性化は、本会の目的の達成はもちろん、本会の根幹にかかわるため極めて重要視している。都道府県公連に対して功労があった役職員を表彰することにより、その労をねぎらい、連帯意識の向上に資するために各種表彰を行った。

今年度の表彰実績は以下のとおり。

《永年勤続職員表彰、功労者表彰、公連勤続職員表彰実績》

種類	人数
永年勤続職員表彰	235名
功労者表彰	6名
公連勤続職員表彰	0名